

みずほCustomer Desk Report 2022/05/20号(As of 2022/05/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	128.43
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	127.93	1.0475	134.00	1.2340	0.6959
SYD-NY High	128.94	1.0608	135.43	1.2523	0.7072
SYD-NY Low	127.03	1.0460	133.94	1.2339	0.6944
NY 5:00 PM	127.83	1.0585	135.25	1.2471	0.7048
NY DOW	31,253.13	▲ 236.94	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	11,388.50	▲ 29.66	日本10年債	0.2400	0.00bp
S&P	3,900.79	▲ 22.89	米国2年債	2.6094	▲5.69bp
日経平均	26,402.84	▲ 508.36	米国5年債	2.8359	▲5.13bp
TOPIX	1,860.08	▲ 24.61	米国10年債	2.8361	▲4.70bp
シカゴ日経先物	26,380.00	70.00	独10年債	0.9395	▲6.95bp
ロンドンFT	7,302.74	▲ 135.35	英10年債	1.8670	0.30bp
DAX	13,882.30	▲ 125.46	豪10年債	3.4110	▲1.40bp
ハンセン指数	20,120.68	▲ 523.60	USDJPY 1M Vol	11.63	0.30%
上海総合	3,096.96	10.99	USDJPY 3M Vol	10.98	0.25%
NY金	1,841.20	25.30	USDJPY 6M Vol	10.48	0.15%
WTI	109.89	2.85	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	313.75	4.38	EURJPY 3M Vol	12.20	0.47%
ドルインデックス	102.72	▲ 1.09	EURJPY 6M Vol	11.68	0.38%

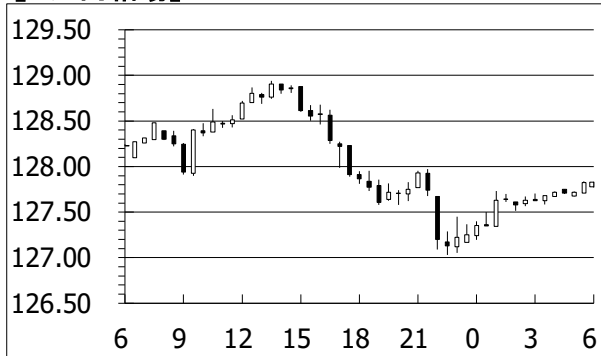
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月19日	08:50	日 貿易収支	4月 -¥839.2b	-¥1150.0b
	10:30	豪 雇用者数変化	4月 4.0k	30.0k
	10:30	豪 失業率	4月 3.9%	3.9%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	「物価高が懸念。引き締めペースが唯一の課題。」
	21:30	米 フィデラルフィア連銀景況	5月 2.6	15.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	14-May 218k	200k
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 5.61m	5.64m
5月20日	05:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	「軟着陸に向け全力を尽くすが、実現可能かは不明。」

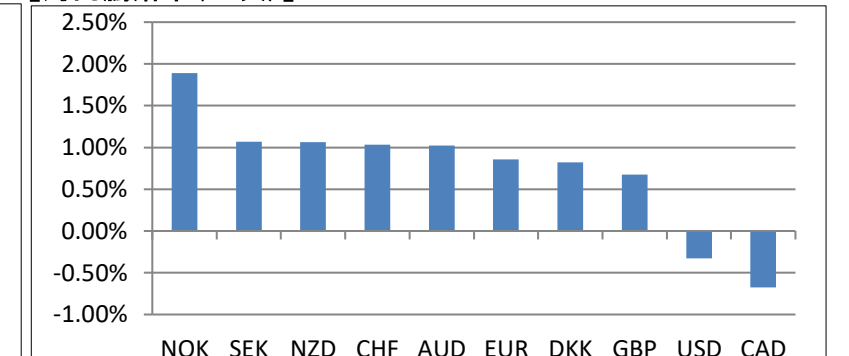
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月20日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	4月 2.5%/2.0%/0.7%	1.2%/0.8%/-0.7%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比)	4月 -0.2%	-1.1%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前年比)	4月 -8.3%	-0.6%
	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	4月 31.3%/1.2%	30.9%/4.9%
	23:00	欧 消費者信頼感	5月 -21.5	-22.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.00-128.50	1.0350-1.0630	132.00-136.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は127.93レベルでオープン。米金利が持ち直した他、米株先物の反発による前日からのリスクオフの一時的な後退を受け、128.90近辺まで値を上げた。その後は米株先物が下落に転じ、株安警戒感からドル円は下落基調で海外時間へ。米経済指標発表が軒並み低調な結果となり、景気後退感の高まりからリスクオフムードが再燃。米金利低下も相まって、ドル円は127.03円まで下落。その後は株式市場も下げ渋り、127円を割り込む円高圧力には至らずじりじりと値を戻す展開となり、結局127.83レベルでクローズした。

本日のドル円は、軟調推移を予想する。米経済指標悪化を受けた、米国リセッション入りへの警戒感は強まっており、リスク回避の円買いが加速する局面も想定される。また日本国内CPIが市場予想を上回る結果となった場合、更なるドル円下落の起爆剤となる可能性も。引続き下値リスクに警戒する局面が続くのではないかと予想する。

東京	前日の米株安によるリスクオフの円買いの流れを引き継ぎ、オセアニア時間に128円割れとなった後、東京時間のドル円は127.93レベルでオープン。127.90までつけるも、127円台では実需のフローに買い支えられ128円台に再び浮上。日経平均株価が下げ止まったこともサポートして128.94まで上昇するが、129円ちょうどを手前に上値重くなり128.56レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、128.56レベルでオープン。昨日のリスクオフが継続。欧州株と米長期金利が下落する中で円高とドル安がドル円を大きく下押し。一時127.58まで売られ127.93レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米景気悪化懸念が強まったことから海外市場でもリスク回避の動きが強まり、円が買われる一方、ドルは米長期金利低下を受け売りが強まったことからドル円は127.58まで下落し、127.93レベルでNYオープン。朝方は5月フィデラルフィア連銀景況指数が予想を下回り、またジョージ・カンザシティ連銀総裁が株式市場が値動き荒く推移していることには驚きはなく、インフレ抑制のために政策の引き締め計画を変えることはないとの発言が伝わったこともあり、景気悪化懸念から米長期金利が2.8%を割り込む展開に更にドル売りが強まり、ドル円は127.03まで下落する。10時に発表された米4月中古住宅販売件数は、住宅価格の高止まりや、住宅ローン金利上昇を受け予想以上に悪化し、前回分も下方修正され、ドル円はその後上値の重い展開が続く。株式市場が下げ渋る展開にクロス円の買いが持ち込まれ、127.73まで戻す。午後は127.70付近での推移が続き、一時127.84まで戻し、127.83レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で米長期金利が低下する動きに、ドルロングポジションを解消する動きが強まり、1.0540まで戻し1.0518レベルでNYオープン。朝方はドル売りが継続し、ユーロドルはじり高で推移する中、株式市場が下げ渋る動きを受けユーロドルは1.0598まで戻す。午後は2週間ぶりに1.06台へ乗せ1.0608まで戻すが、終盤に掛けては調整から小緩み1.0585レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。